

マルセイユ 2024 年 8 月 2 日

[プレスリリース]

公益財団法人 日本セーリング連盟

**男女混合ディンギー種目 470 級、好発進
第 1 レース 1 位、第 2 レース 2 位で暫定 1 位**



第 1 レーストップで上マークを回航する岡田／吉岡組 ©JSAF/JUNICHI HIRAI（写真転用禁止）

レース 6 日目。今日から男女混合ディンギー種目 470 級のレースが始まりました。日本からは 2023 年の世界チャンピオン、岡田奎樹／吉岡美帆組が出場し、初日の 2 レースを終えて暫定トップ。首位発進と好スタートを切りました。

ゼネラルリコール（複数艇によるフライングでスタートやり直し）で始まった混合ディンギー種目の第 1 レース。ピンエンド（スタートラインの一番風下側）狙いの岡田／吉岡はやり直しのスタートも攻めきってピンエンドのスタートを成功させます。そのままプランどおりにレースを進め、一度も先頭を譲ることなくこのレース、トップでフィニッシュしました。

第 2 レースもピンエンドからジャストのタイミングでスタート。途中からスイスと競うレース展開となりましたが、冷静なレース運びで 2 位をキープ。自らライバルと認めるスペイン（2 位）と 8 点差の暫定 1 位で、初日のスタートダッシュに成功しています。

男女混合ディンギー種目は 1 日 2 レースのオープニングシリーズ（予選）が 8 月 6 日まで行われ、上位 10 艇によるメダルレース（決勝）は 7 日に実施される予定です。

一方、昨日延期となった男女スキフ種目は今日、無事にメダルレースが行われ 6 名のメダリストが誕生しました。

女子スキフ種目 49erFX 級では、トップを独走し暫定 2 位から逆転での金メダル獲得を確実にしていたオランダが、フィニッシュラインを間違えるというハプニングがありました。トップフィニッシュは暫定 3 位のスウェーデン。間違いに気づいたオランダが慌ててフィニッシュラインを越えたのは 3 番目でした。誰が勝ったのか？ 結果は 2 ポイント差でオランダが金、スウェーデンが銀、暫定 1 位だったフランスは銅メダルを手に入れました。こんな初歩的なミスをトップ選手がするなんて、と驚いた出来事でした。

男子スキフ種目の 49er 級ではスペインが金、ニュージーランドが銀、アメリカが銅メダルを獲得しました。

明日は地中海名物のミストラルが吹く予報です。明日からは男女混合マルチハル種目 Nacra17 級も始まります。これでセーリング競技・日本代表全員が出そろいます。

成績 & スケジュール（ワールドセーリング五輪公式大会サイト）

<https://paris2024.sailing.org/racing/results-centre/>

（審問により成績が変更される場合があります。またレーススケジュールはコンディションによって変更されますので、必ず最新情報をご確認ください）

[選手コメント]

470 級クルー・吉岡美帆選手

「今日はめちゃくちゃ緊張しました。でもその緊張が良い集中に変えられたと思います。第 1 レースは最初から下スタートで攻めきろうと話しており、想定どおりのスタートが（ゼネラルリコールも含め）切れました。その後の展開もプランどおりでした。明日は風が上がる予報です。まだ細かい作戦は立てていませんが、明

日は耐える 1 日になる、ということはお互いに認識しています。でも今日、得意な風域で後続にこれだけ点差を広げられたので、明日も余裕をもったのぞめるのではないかと思います。

今年のマルセイユは特に暑いと感じています。ダウンウインドでは喉が乾いて仕方がありませんでした。明日に備えて力を付けるために、今日はお肉を食べたい気分です」

470 級スキッパー・岡田奎樹選手

「今日はしっかりと攻めきる、というのを目標としていたので、スタートラインの下側、ピンエンドを狙うことをしつこくやって、ゼネリコにも引っかからず、目測を間違えることもなく、距離感もばっちり、しっかり加速してスタートができ、ほとんど問題はなかったです。

2 レース目は上マークを回った時点でスイスと自分たちの 2 艇だけが抜けた状態になり、スイスの後ろにいた自分たちのほうが艇速があったので、うっかり（相手艇の）上側に入ってしまう、スイスにコースの外側に連れて行かれてしまいました。結果的には 2 位でしたが、その間にスペインに抜かれる可能性もあったので、スイスとはあんな無駄なことはせずに、後続艇団とは十分な距離があったので、スピードを少し落として距離を保ちながら勝負すれば良かったなというのが反省です。

明日は風が強い予報です。風が強いとスピードが速い順に順位が決まりますし、強風が得意な選手がいるので、自分たちはまあ 5 番ぐらいでいいんじゃないですか（笑）。オリンピックに向けて調整したセット（艇、セール、マスト）では、また彼ら（五輪出場選手）と強風での手合わせをしていないので、正直、強風でのスピード差が分かりません。走り始めて速いと思ったらトップを狙いますし、10 番目ぐらいだと感じたらそこを目指します。だから明日はあまり期待しないでください」

本件に関するお問い合わせ先

日本セーリング連盟 広報委員会 kohou@jsaf.or.jp

現地（西朝子）sailingnishi@gmail.com

+81-90-1042-9262（なるべく WhatsApp 等のアプリからおかけください）

写真に関するお問い合わせは上記までご連絡ください

JSAF 公式 [ウェブサイト](#) [Facebook](#) [X\(旧 Twitter\)](#) [Instagram](#)

[特設サイト](#) [代表 Instagram](#)